



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月7日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 判治 誠吾

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 大倉 康裕

TEL 052-205-1400

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	35,333	5.4	2,017	10.1	1,786	21.8	1,020	72.3
2026年3月期第1四半期	33,516	0.9	1,832	31.9	1,467	8.5	592	26.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,258百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	21.89	—
2026年3月期第1四半期	12.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	210,132	91,194	38.9
2026年3月期	209,434	91,425	39.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 81,839百万円 2026年3月期 82,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	12.00	—	19.00	31.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	2.1	9,500	13.5	9,000	21.6	5,000	13.7	107.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	47,520,253 株	2026年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,152,130 株	2026年3月期	654,906 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	46,637,959 株	2026年3月期1Q	47,024,103 株

(注) 当社は、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで本日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国及び中国経済を中心に底堅く推移したものの、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりや物価上昇圧力、通商政策の動向等により、先行き不透明な状況が続きました。

わが国経済においては、緩やかな回復の動きが見られたものの、物価上昇に加え、米国の通商政策や中東情勢等の地政学的リスクの影響を注視する必要性があり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような市場環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、ライフ事業やマリン・エネルギー事業において堅調な需要環境を背景に販売が増加したこと等により、売上高は353億33百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

利益面につきましては、材料費等高騰の影響を受けたものの、マリン・エネルギー事業及びライフ事業における増収効果や価格適正化による採算改善が寄与し、営業利益は20億17百万円（同10.1%増）となりました。また、経常利益は17億86百万円（同21.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億20百万円（同72.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

① パワートレイン事業

日本国内の当第1四半期連結累計期間の自動車市場は、ハイブリッド車の需要が堅調に推移し、また、海外の自動車市場は地域差があるものの、北米を中心に底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループにおいては、北米及び欧州において販売が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は前年同四半期比3.4%増収の181億59百万円となった一方で、材料費等高騰の影響を受け、セグメント利益は同3.7%減益の22億50百万円となりました。

② マリン・エネルギー事業

・大型船舶

輸出手持工事量が2025年6月末の620隻、2,999万総トンに対し、2026年6月末は628隻、3,010万総トンとなり、旺盛な需要が堅調に推移しました。当社グループにおいては、こうした市場環境に加え、生産能力増強の効果も寄与したことから、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

・中小型船舶/産業用発電機/建設機械他

データセンター向け及び船舶向け需要が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比14.4%増収の52億30百万円、セグメント利益は同17.2%増益の10億87百万円となりました。

③ ライフ事業

自動車部品用軸受の販売が堅調に推移したことに加え、油圧機器用軸受等の売上が増加したことにより、当セグメントの売上高は前年同四半期比8.0%増収の60億58百万円となりました。利益面では、価格適正化による採算改善が寄与し、セグメント利益は同27.1%増益の10億89百万円となりました。

④ フロンティア事業

・アルミダイカスト製品

主要顧客向け需要変動の影響を受けたものの、拡販活動を推進いたしました。

・精密金属加工部品（曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品）

一部顧客の受注減少影響があったものの、新規大型案件の立ち上げや受注増により増収となりました。一方、利益面では新機種立ち上げに伴う先行費用の影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比2.3%増収の56億69百万円となりました。セグメント損失は3億47百万円（前年同四半期はセグメント損失3億3百万円）となりました。

⑤ その他

ポンプ関連製品における新規顧客獲得や販路開拓の進展に加え、金属系無潤滑軸受の受注が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比11.9%増収の6億2百万円となりました。利益面では増収効果及び価格適正化による採算改善が寄与し、セグメント利益は同13.1%増益の1億21百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は2,101億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億97百万円増加いたしました。これは主に流動資産が増加したこと等によります。

流動資産は1,130億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億15百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少した一方、仕掛品が増加したことによります。

固定資産は970億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減少した一方、投資その他の資産が増加したことによります。

負債につきましては1,189億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億28百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加した一方、流動負債のその他及び1年内返済予定の長期借入金が増加したことによります。

純資産は911億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加した一方、自己株式の取得により株主資本が減少したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し、38.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億1百万円の収入となりました。これは主に、減価償却費による収入23億6百万円、その他の負債の増加による収入22億40百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億28百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出16億52百万円、定期預金の払戻による収入11億29百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億78百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出20億19百万円、配当金の支払額8億60百万円によります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は261億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期の業績予想につきましては、2026年5月12日に公表した予想値に変更はありません。

前提為替レートは、1 U S ドル/153円、1 ユーロ/182円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,469	28,185
受取手形及び売掛金	31,213	30,834
電子記録債権	3,497	3,271
商品及び製品	19,886	20,164
仕掛品	14,357	15,732
原材料及び貯蔵品	11,047	11,197
その他	3,069	3,780
貸倒引当金	△119	△128
流動資産合計	112,422	113,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,571	19,382
機械装置及び運搬具（純額）	21,717	22,288
その他（純額）	25,117	23,231
有形固定資産合計	65,405	64,902
無形固定資産		
のれん	2,898	2,695
その他	4,341	4,371
無形固定資産合計	7,240	7,067
投資その他の資産		
投資その他の資産	24,414	25,172
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	24,366	25,123
固定資産合計	97,012	97,093
資産合計	209,434	210,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,300	10,632
電子記録債務	13,327	14,303
短期借入金	27,187	27,020
1年内返済予定の長期借入金	8,206	10,101
未払法人税等	2,323	1,323
賞与引当金	2,051	1,035
役員賞与引当金	138	52
製品補償引当金	87	114
営業外電子記録債務	1,227	1,753
その他	9,484	11,361
流動負債合計	74,335	77,698
固定負債		
長期借入金	29,104	26,702
株式給付引当金	112	100
役員株式給付引当金	101	108
退職給付に係る負債	7,884	7,949
資産除去債務	17	17
その他	6,453	6,360
固定負債合計	43,674	41,239
負債合計	118,009	118,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,112	13,112
利益剰余金	41,623	41,741
自己株式	△455	△965
株主資本合計	62,694	62,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,786	1,957
為替換算調整勘定	13,000	13,028
退職給付に係る調整累計額	4,608	4,551
その他の包括利益累計額合計	19,395	19,537
非支配株主持分	9,335	9,355
純資産合計	91,425	91,194
負債純資産合計	209,434	210,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	33,516	35,333
売上原価	25,111	26,402
売上総利益	8,405	8,931
販売費及び一般管理費	6,573	6,914
営業利益	1,832	2,017
営業外収益		
受取利息	94	73
受取配当金	95	103
持分法による投資利益	20	-
その他	45	77
営業外収益合計	256	255
営業外費用		
支払利息	351	390
持分法による投資損失	-	5
為替差損	237	16
その他	32	72
営業外費用合計	621	485
経常利益	1,467	1,786
税金等調整前四半期純利益	1,467	1,786
法人税、住民税及び事業税	994	703
法人税等調整額	△299	△119
法人税等合計	694	584
四半期純利益	772	1,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	181
親会社株主に帰属する四半期純利益	592	1,020

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	772	1,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	177
為替換算調整勘定	△1,197	△23
退職給付に係る調整額	△47	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	△111	△48
その他の包括利益合計	△1,213	56
四半期包括利益	△441	1,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△204	1,163
非支配株主に係る四半期包括利益	△236	95

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,467	1,786
減価償却費	2,374	2,306
のれん償却額	201	213
持分法による投資損益(△は益)	△20	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,031	△1,015
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△82	△86
退職給付に係る資産負債の増減額	△161	△211
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△17	△11
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3	7
受取利息及び受取配当金	△190	△177
支払利息	351	390
固定資産売却損益(△は益)	△2	△5
売上債権の増減額(△は増加)	△1,065	804
棚卸資産の増減額(△は増加)	170	△1,702
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,566	1,204
未払消費税等の増減額(△は減少)	84	83
固定資産除却損	25	29
その他の負債の増減額(△は減少)	2,748	2,240
その他	109	△623
小計	3,412	5,248
利息及び配当金の受取額	194	187
利息の支払額	△259	△333
法人税等の支払額	△787	△1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,560	3,601

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△238	△22
定期預金の払戻による収入	881	1,129
投資有価証券の取得による支出	△13	△1
有形固定資産の取得による支出	△1,955	△1,652
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△154	△153
貸付けによる支出	△140	△165
貸付金の回収による収入	128	140
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	467	△406
長期借入れによる収入	3,200	1,500
長期借入金の返済による支出	△2,974	△2,019
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△158	△163
自己株式の取得による支出	△184	△515
自己株式の処分による収入	-	5
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	-	△485
配当金の支払額	△500	△860
非支配株主への配当金の支払額	△29	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179	△2,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	△294	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	589	△93
現金及び現金同等物の期首残高	25,019	26,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,608	26,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	パワー トレイン 事業	マリン・ エネルギー 事業	ライフ 事業	フロンティア 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,443	4,571	5,518	5,520	33,053	463	33,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	110	—	92	24	226	75	302
計	17,553	4,571	5,611	5,544	33,280	538	33,819
セグメント利益 又は損失(△)	2,337	928	857	△303	3,819	107	3,926

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,819
「その他」の区分の利益	107
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△2,100
四半期連結損益計算書の営業利益	1,832

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	パワー トレイン 事業	マリン・ エネルギー 事業	ライフ 事業	フロンティア 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,002	5,203	5,976	5,618	34,801	532	35,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156	27	81	50	316	69	386
計	18,159	5,230	6,058	5,669	35,117	602	35,720
セグメント利益 又は損失 (△)	2,250	1,087	1,089	△347	4,081	121	4,202

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,081
「その他」の区分の利益	121
セグメント間取引消去	23
全社費用 (注)	△2,208
四半期連結損益計算書の営業利益	2,017

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。